

大会宣言

全国港湾労働組合連合会は、国内外の激動する政治・経済情勢の中、港湾労働を取り巻く重大な局面に対し、全国の働く仲間の思いを結集して 2026 年 9 月 16 日から 17 日の二日間に亘り、豊橋シーパレスリゾート日港福に於いて第 19 回定期大会を開催した。

世界では国連憲章や国際法を踏みにじる武力行使と侵略、報復の連鎖により、無辜の民の生命と日常が破壊されている。中東情勢の悪化は原油や原材料の不足を招き、終わりの見えない物価高騰が生活危機となって国民・労働者に重くのしかかっている。この中で、平和憲法を持つ日本だが、現政権が進める軍事費の際限なき拡大や軍需産業の成長戦略化、特定利用港湾の指定促進は、日本を再び「戦争をする国」へと傾倒させる愚行と云える。

港湾の職場においても、政府・財界主導の体制的合理化が急速に進められ、AI・自動化・DX の強行導入や、過酷な波動性による長時間・不規則労働、重大労働災害など、労働者の雇用・安全・生活の根本が脅かされている。今こそ、産別の総力を結集し、平和と民主主義を守り、持続可能で魅力ある港湾産業と誇りある労働条件を確立するための確かな歩みを進めなければならない。

一、産別労使関係の再構築と「独禁法抵触論」問題の決着

最高裁判決を見据え、「独禁法抵触論」に終止符を打たせ、制度賃金要求の正当性を認めさせ、労使交渉体制を再構築する。事前協議制度を堅持し、産別協定の意義を確立する。

一、大幅賃上げ・完全週休 2 日制の実現と人手不足の根本的打開

物価高騰から生活を防衛し、人手不足を打開するために、産別結集による大幅賃上げを獲得する。長時間・不規則労働を撲滅し、完全週休 2 日制を確立する。福利厚生等基金の拡充と適正料金の収受（認可料金制への復帰）を推進し、将来に希望を持てる「魅力ある港湾労働」を創出する。

一、体制的港湾「合理化」の粉碎と雇用・職域・業域の確保

成長戦略に乗じた一方的な AI 化・自動化・DX 推進に対し、雇用と労働条件を守る産別協定の労使合意の原則を徹底して貫徹する。5.30 協定に基づく職域・業域の防衛と「公正な移行」を勝ち取る。

一、戦争反対・平和憲法の遵守と「特定利用港湾化」阻止

日本国憲法前文の精神に基づき、港湾を軍事の兵站拠点化させ、労働者を戦禍に晒す「特定利用港湾」指定および軍事利用に断固反対する。

一、安全・安心の職場確立と国際連帯（ITF）・組織強化の推進

現場の安全衛生対策と熱中症・異常気象対策を徹底させる。差別を許さない体制を整え、ITF との連帯で持続可能な職場実現に向けて奮闘する。

これらの方針を全組合員の総意として確認し、全国港湾に結集する仲間、連帯する労働者とともに、直面するいかなる困難をも打破していくため、港湾産別運動の更なる発展を強化し進めることをここに宣言する。

2026 年 9 月 17 日

全国港湾労働組合連合会 第 19 回定期大会